Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしでしょうか？ 2019 年は年号が変わりましたが、昨年のような天災など無いことを祈念しています。

さて、大橋は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医科大学の運営委員会を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るとのは、メールボックスがあり、そこにはデジタルサイネージが設けてあります。いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発行している機関誌への投稿を促すスライドを毎月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。友人の Ms. Keiko C. の描いたイラストを使わせてもらったが、自分で撮った写真を使ったりしています。

では、2018 年の 1 月と 2 月のスライドを紹介します。

まず、新年のご挨拶〜富士山の写真は新幹線からの撮影です。

冬は暖かい毛糸のケープなどで身を包んで出かけましょう。

以前、北陸本線で冬に富山に出向いた時に、車窓は雪原でした。

川崎医科大学のある倉敷では降雪があることとは少ないのですが、皆様の街はいかがですか？

2 月に入るとバレンタインの準備ですよ！ KMS は、Kawasaki Medical School: 川崎医科大学の略文字です。

川崎医科大学では全員の皆様からのご寄稿を心よりお待ちしております。

そして女子たちは（もしも？）お手製のチョコ作りを始めますのでしょうか？

そして 3 度目の冬
街を斜めに風が吹き切って
穂の 街路樹は いつもと 同じ様に
少し 墓える 元気で 映り出る

それは 想い出の中
振り向く肩に しつかみついて
化石の 幻が 光に 満けていった
今も 優しい 冬の頃に 諫早空

若さを 信じるよりも
心を いたわり合えば
日々の重さと 時の速さを
いつか 泡かして 愛を 騒えるさ
あなたへの愛を

そして 3 度目の冬
白い雪の 恋を 引き結ぶ
あの日の すれ違い いつまた 繰り返す

そっと 名前を 曝けよ 高鳴る胸

それは 朝まだ早い
鏡の彼方に 昇る太陽

彩る 横顔は 季節を いくつ巡る
今は 淡い 微笑みに 確かめる愛よ

若さを 信じるよりも
心を いたわり合えば
日々の重さと 時の速さを
いつか 泡かして 愛を 騒えるさ
あなたへの愛を

皆様にとって 2019 年がステキな年になりますように！

プロフィール
大橋 剛己
（おおき たけみ）
川崎医科大学医学部医学科

10歳：京都府福知山市にて生まれ

14歳：京都府立中学校に入学

15歳：近畿大学医学部医学科

20歳：YAMAHA ポップコラボレーション

26歳：川崎医科大学医学部医学科

卒業・大学院医学系研究科

1992-1996年：米国留学（医学研究）

1996年：岐阜大学医学部医学科

現在 comedic TV-CM 出演に携わる

2000年：Camnet CH2（10-19）パーソナリティ担当

現在に至る